



学校だより第8号

令和7年11月28日

新宿区立戸塚第三小学校



ながれ

100th Anniversary

開校100周年を迎え

副校長

本校は、大正15年6月1日に、東京府豊多摩群戸塚第三尋常小学校として開校しました。

当時は、児童数726名、学級数12学級、職員数15名でスタートし、その後、百年の月日が経過する中で、多くの児童が地域の方々に温かく見守られ、これまでの卒業生は9,138名にのびます。

この100周年にあたり、日頃の教育活動でも支えてくださった方々の学校に対する思いやその方々への感謝の気持ちを抱き、今後よりよい戸三小にしていくために自分たちにできることを考え、全校児童で心を込めてお祝いをするために様々な取組を行いました。本日実施した「開校100周年記念児童集会(学習発表会)」でもその一端を披露することができ、地域の皆様や保護者の皆様にも喜んでいただけたかと思いません。

12月13日(土)には、「開校100周年記念式典」を挙行政いたします。来賓として新宿区長、新宿区教育委員会、地域の皆様等をお招きし、在校生代表の5・6年生とともに厳粛にかつ盛大にお祝いします。100周年という節目の年に在校生ということは偶然ではありますが、この偶然をよい機会としてますます愛校心に溢れる戸三小の児童となってくれるとうれしいです。

これからの10年、20年先も、戸三小が地域の多くの方々の大切な心の故郷であり続けるよう、そして児童が地域と学校への愛情と誇りをもつことができるよう、教職員一同、100周年という歴史的な瞬間に戸三小にいる幸せと責任を自覚し、一層努力を続けてまいります。

開校100周年記念運動会

体育主任

一人ひとりが全力を尽くし、仲間と協力しながら最後まで頑張る姿が見られました。練習の段階から、疲れに負けずに前向きに取り組む姿勢、声を掛け合って励まし合う姿がとても印象的でした。

たくさんの応援をくださりありがとうございました。児童の振り返りの中から一部ではありますがご紹介します。

(原文のまま。ひらがなは漢字に変更しました。)

- ・「最高到達点」のダンスで、緊張したけど大きく踊れました。とても楽しかったです。みんなに見てもらって、楽しくできました。(1年生)
- ・ダンスのさいしょのうちは、きんちょうして、「まちがえる」と思った。けれど、なれてきて、まちがわなかった。わらってできてよかった。(2年生)
- ・一生懸命練習に取り組むことができたし、頑張っている友達を見つけることができました。(3年生)
- ・大きく体を動かしてかいっぱい踊ることを目標にしていました。完璧に達成することはできませんでしたが、やまない雨の中で、できるかぎり大きく踊れたと思います。(4年生)
- ・ソーラン節は、下級生の時から憧れていました。ようやくそのソーラン節に挑戦できる学年になったので、一生懸命練習に取り組みました。(5年生)
- ・「想嵐舞子」の字の通り、嵐のように力強く舞い、友を想う子として最後まで踊りました。本番は、みんなで団結して今までで一番いい踊りができました。(5年生)
- ・学年全員で、心をつなげて演技して、ぴったりと揃えることができたので、達成感がありました。(6年生)
- ・初めは、技が難しく、練習もきつかったです。最後には難しい技もできるようになったので、すごく嬉しかったです。(6年生)
- ・雨が降り、寒くて冷たかったけれど、皆と協力してがんばったので、とてもいい思い出になりました。(6年生)